

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州憑の里の小野御柱祭お・も・て・な・し観光PR事業
事業主体 (連絡先)	両小野地区振興会 (0266-46-2029)
事業区分	特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	1,335,931円 (うち支援金: 1,049,000円)

事業内容

1. 観光客おもてなし事業

「祭り参加呼び掛け隊」が御柱に乗ったり曳いたりするよう呼び掛ける、観光客参加型御柱事業を実施した。また、観光客に長時間安心して参加型事業を楽しんでいただくため、観光案内所、案内看板、仮設トイレ等を設置する観光客おもてなし環境整備事業や、きめ細かなスケジュール等を新聞に掲載することでPRを強化する小野御柱広域広報事業を実施した。

2. フォトコンテスト開催事業

参加型事業との相乗効果を狙い、観光客に小野御柱への愛着を持っていただくため、塩尻市及び辰野町の特産品を賞品とするフォトコンテストを実施した。



【フォトコンテスト表彰式】

(最優秀賞受賞者は埼玉県からお越しいただきました)

【目標・ねらい】

- ① 小野御柱の魅力を観光客に発信し、両小野地区の交流人口増加を狙う。
- ② 小野御柱を一時的な観光イベントで済ませず、両小野地区の観光リピーターを獲得する。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 観光客おもてなし事業

「祭り参加呼び掛け隊」による参加型事業によって観光客と地元住民に一体感ができたことで、小野御柱は大いに盛り上がった。また、小野御柱広域広報事業や観光客おもてなし環境整備事業によって、小野御柱を快適に過ごしていただくことで、両小野地区の魅力を発信し、交流人口の増加が図られた。

2. フォトコンテスト開催事業

写真撮影を通して小野御柱の魅力を発見していただくとともに、御柱終了後(10月1日)に表彰式を実施したことで、再度両小野地区を観光する機会を創出した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今回のおもてなし事業により、次回(平成35年)の小野御柱には、多くのリピーターが両小野地区に訪れることが予想される。そのため、今回行った観光協会との協力体制をより密にするなど、観光体制をしっかりと整えて、さらなるおもてなしの準備を進めていきたい。

※自己評価【 B 】

【理由】

小野御柱には、目標としていた10万人の集客を得られた。また、フォトコンテスト表彰式によって、県外から再度両小野地区を観光していただくことができた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある